

様式 C - 7 - 1

平成30年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)実績報告書(研究実績報告書)

所属研究機関名称		大妻女子大学	機関番号	32604
研究代表者	部局	人間生活文化研究所		
	職	所長		
	氏名	大澤 清二		

1. 研究種目名 基盤研究(A)(一般) 2. 課題番号 15H01763

3. 研究課題名 人が生育する限界的環境に於ける発育発達(生活技術の発達を含む)と成熟の総合的研究

4. 研究期間 平成27年度～平成30年度 5. 領域番号・区分 -

6. 研究実績の概要

人の発育発達過程に関する知識は過去150年間に欧米と東アジアを中心とする地域、民族に関して蓄積されてきたがこれらの地域、民族以外の人の身体発育発達の諸相については全く知識の蓄積が無いままに現在に至っている。そこでこの研究では人の身体発育発達の諸相を人類が狩猟採集時代から現代迄に辿ってきた社会の発展段階に添って探求してきた。これを手掛りとしてGoldschmidtが提案した人類発展史モデル「Man's Way」を作業的な仮説とし、これに対応させて人の身体発育発達史を記述し説明しつつある。その結果アンダマン海の漂海民モーゲン(サロン)、タイの森の民ムラブリ(ビートンルアン)、ヒマラヤの高地民ポーティア、シェルバ、ミャンマー最西部の伝統社会に生きるバダウン、カヨー、上座仏教の僧院の少年僧を継続的に現地調査してきた。特にミャンマーでの調査は現地の厳しい制限があり実施する事が非常に困難であったが幸い完遂することができた。調査項目は以下の通りである。

生育環境・ライフスタイル(食事、衣服、育児、教育、通過儀礼、人体変工等)、形態発育(身長、体重、皮下脂肪厚等生体計測項目)、機能発達項目:FMS(フィンモータースキル)、GMS(グロスモータースキル)42項目(鉛筆削り、木登り、閉眼片脚立ち等)、SFL(スキルズ・フォア・ライフ)28項目(衣服着脱、調理、火おこし、操船等)、その他、走、跳、投能力、筋力、肺機能、視力、聴力、泳力、潜水力、書字力等、民族の特徴に応じた体力・基礎運動能力項目、性成熟項目等。この種の調査としては項目数、測定対象者の数共に世界最大級のデータセットを蓄積した。

またこれ迄に収集した3～18歳の発育発達データについて項目毎に発達状況を集計し順次データ解析と解釈を行い日本発育発達学会等で報告している。

7. キーワード

狩猟採集民 身体発育 身体発達 生活技術 限界的環境

8. 現在までの進捗状況

区分	
理由	平成30年度が最終年度であるため、記入しない。

2 版

9. 今後の研究の推進方策

平成30年度が最終年度であるため、記入しない。

10. 研究発表（平成30年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計6件（うち査読付論文 5件 / うち国際共著論文 4件 / うちオープンアクセス 6件）

1. 著者名 Seiji Ohsawa and Atsuko Shimoda	4. 巻 28
2. 論文標題 The growth of height in early childhood determines the height of Japanese people (From the school health survey, 1900-2017)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal of Human Culture Studies	6. 最初と最後の頁 493-498
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） https://doi.org/10.9748/hcs.2018.493	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 大澤清二、下田敦子、シスコタミットS、プラディットN	4. 巻 80
2. 論文標題 思春期の身長発育スパートが見られないムラブリ人について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 発育発達研究	6. 最初と最後の頁 30-38
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） https://doi.org/10.5332/hatsuhatsu.2018.80_30	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 下田敦子、大澤清二、タンナイン、ジョネイ	4. 巻 81
2. 論文標題 生涯にわたる首輪装着がカヤン女性の首の長さをどのように変えるか：いわゆる首長族、カヤン女性の幼児期から70歳までの首の長さの年齢変化について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 発育発達研究	6. 最初と最後の頁 10-20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） https://doi.org/10.5332/hatsuhatsu.2018.81_10	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 大澤 清二, 下田 敦子, シスコンタミット サターバン, プラディット ナリット	4. 巻 81
2. 論文標題 狩猟採集民ムラブリの握力の発達に関する研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 発育発達研究	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.5332/hatsuhatsu.2018.81_1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 大澤 清二, 下田 敦子, シスコンタミット サターバン, プラディット ナリット	4. 巻 81
2. 論文標題 狩猟採集民ムラブリの体重、座高および長い発育期と生涯を2期に分けるBMIの特徴について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 発育発達研究	6. 最初と最後の頁 21-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.5332/hatsuhatsu.2018.81_21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 下田 敦子	4. 巻 16(2)
2. 論文標題 生活習慣の改善を目指した介入研究の効果～ミャンマーにおける学校改善プロジェクトの調査結果から～	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 子どもと発育発達	6. 最初と最後の頁 90-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計5件(うち招待講演 2件/うち国際学会 0件)

1. 発表者名 大澤 清二
2. 発表標題 大妻女子大学博物館特別展「東南アジアの狩猟採集民の生活と子どもの発育発達～文明は人の身体から何をうばうのか～」
3. 学会等名 大妻学院創立110周年記念事業
4. 発表年 2019年

2 版

1. 発表者名 大澤 清二
2. 発表標題 アジアの山地民、狩猟採集民の子どもはどのように育つのか - 发育発達科学研究の45年 -
3. 学会等名 日本发育発達学会第17回大会会長講演
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大澤 清二
2. 発表標題 狩猟採集民サロン（モーケン）の調査から サロンの生活と身体能力の発達
3. 学会等名 一般社団法人ミャンマー友好協会「ミャンマー友好イベント」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大澤 清二
2. 発表標題 文明は人の身体から何をうばうのか 狩猟採集民、山地民の生活から日本人の未来を予想する
3. 学会等名 大妻女子大学図書館ラーニングcommons・イベント
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 下田 敦子
2. 発表標題 カヤン（首長族）の最新データ カヤン人女性にとっての首輪の装着とは
3. 学会等名 一般社団法人ミャンマー友好協会「ミャンマー友好イベント」（招待講演）
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

1 1 . 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件 / うち取得0件）

1 2 . 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

1 3 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

1 4 . 備考

-